



CPDM

Center for Photodynamic Medicine
Kochi Medical School, Kochi University

NEWS LETTER 光線医療センター

2024年 第5号

米国泌尿器科学会で発表

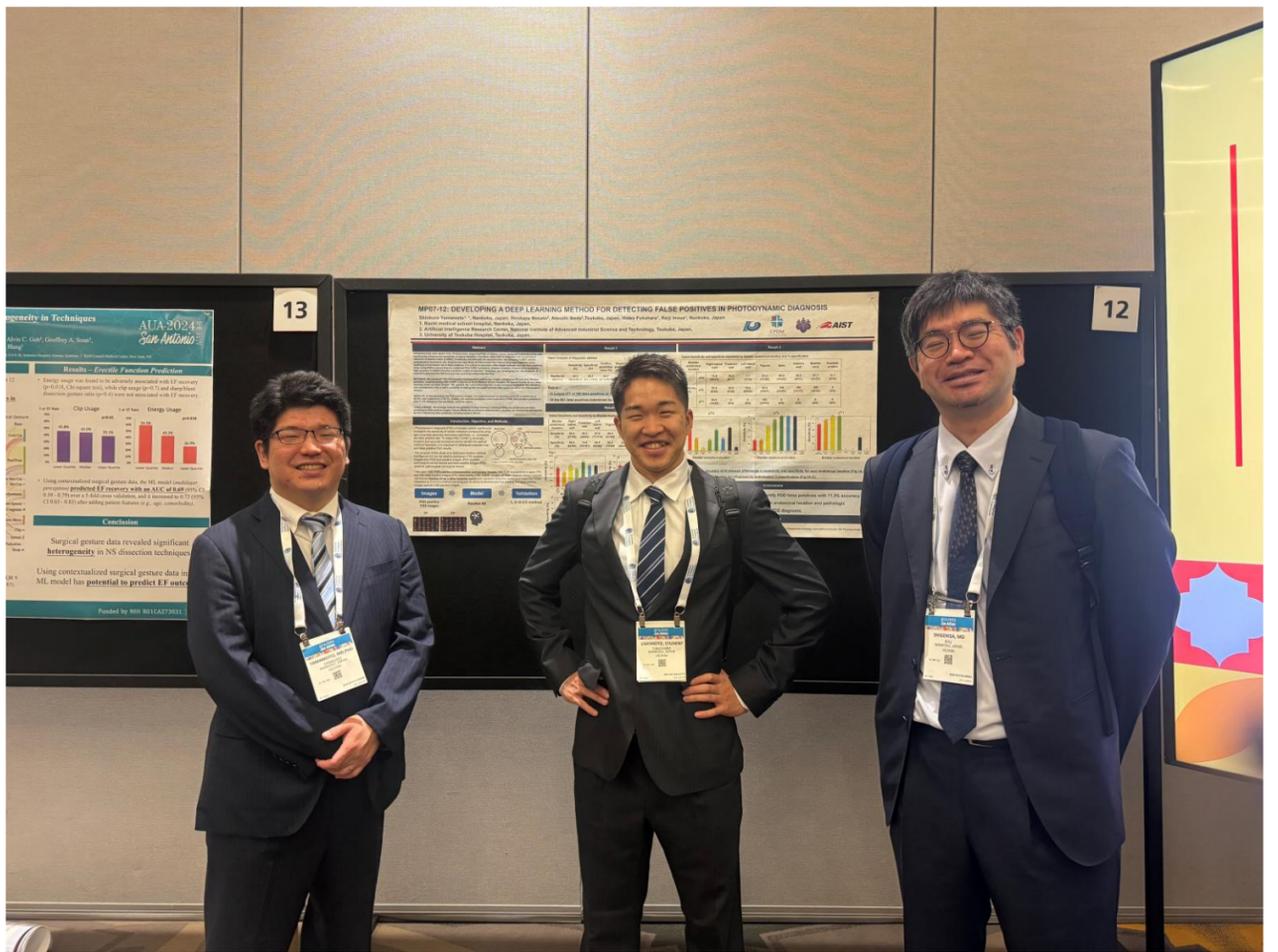
5月3日(金)から米国のサンアントニオで米国泌尿器科学会が開催されました。山本 新九郎先生の演題が採択され、ポスターで光線力学における最新のAI診断に関する研究の発表を行ってきました。

The 2024 American Urological Association annual meeting (AUA) に山本 新九郎先生、重久 立先生(大学院生)と丑本 知大君(医学科6年生)が参加されました。学会会場であるHenry B. González Convention Centerは、サンアントニオの名所である「リバーウォーク」や「アラモ砦」も徒歩圏内であり、リバーウォークでは、様々なショップやレストランが並んでおり、サンアントニオは、メキシコに近いこともあり、メキシコ料理のレストランが散見され、中にはメキシカンな服装で音楽を演奏しているレストランもありました。

「Surgical Technology & Simulation: Artificial Intelligence」Moderated Poster Session」において、山本新九郎先生が演題名「Developing a deep learning method for detecting false positives in photodynamic diagnosis」を発表されました。

本研究は、膀胱癌に対するPDD偽陽性・真陽性を人工知能(AI)で識別可能かどうかを検討した光線医療とAI技術を組み合わせた研究です。臨床とAIの専門家が集うセッションでの質疑応答を通じ、本研究がブラッシュアップされました。また、発表以外でも国際学会独特の空気感に触れたり、大学の枠組みを越えた交流があったりと、それぞれの先生方が様々な学びを得られた大変有意義な学会参加となりました。今後の更なる光線力学とAI技術分野が融合した研究の展開が期待されます。





光線医療 関連発表・講演

筆頭演者; 山本 新九郎先生
「光線力学診断における深層学習に基づいた偽陽性検出法の開発」
第111回日本泌尿器科学会総会. 横浜, 2024/4/25.

筆頭演者; 山本 新九郎先生
「Developing a deep learning method for detecting false positives in photodynamic diagnosis.」
The 2024 American Urological Association annual meeting. San Antonio, USA, May 3, 2024,

筆頭演者; 井上 啓史先生
「先端医療工学」第3回 講義「光で診て、光で治す～ Photo-Theranostics Era～」
大阪大学大学院工学研究科 2024/05/13

筆頭演者; 井上 啓史先生
「尿路上皮癌診療の道 ～ 始めも良ければ終わりも良し～」
石川県尿路上皮癌セミナー 2024/05/20

光線医療センター ニュースレター

2024年 5月 27日 発行

発行責任者・編集責任者：井上 啓史

(高知大学医学部 光線医療センター センター長)

文責：福原 秀雄

<https://www.kochi-u.ac.jp/kms/CPDM/index.html>